

第4回日本生殖発生毒性フォーラム案内（1）

早秋の候、時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

第4回日本生殖発生毒性フォーラムのご案内を下記の通りご連絡申し上げます。本年も、新型コロナウイルス感染を考慮し、Web開催することに決定いたしました。今回は「環境要因と仔の発達」「代替法を用いた発生毒性の予測」を企画しており、興味ある内容になると思いますので、是非ご参加下さい。また、同施設、同企業の方にもお知らせいただければ幸いです。

なお、Webへのアクセスは事前参加登録が必須となりますが、次回ご案内にてご連絡いたします。

日時：2022年11月12日（土）13時～17時

会場：Web開催（Zoom）

会費：2000円

参加者の方には前日までにログインIDとパスワードをお知らせします。（お支払い方法は次回案内でご連絡いたします。学生の方は無料とさせていただきます。）

プログラム

1. 基礎教育講演（1）

「母胎の環境要因と仔の脳機能の発達の関わりを紐解く神経発生毒性学的アプローチ」
駒田 致和 先生（近畿大学理工学生命科学科）

2. 基礎教育講演（2）

「発生毒性試験代替法－催奇形性発現機序に基づくゼブラフィッシュ胚の利用と応用」
田崎 純一 先生（花王株式会社）

3. 話題提供

(1) 「幼若ラットを用いた生後早期の医薬品曝露が及ぼす社会性行動変化について」
服部 篤紀 先生（塩野義製薬株式会社）

(2) 「Implementation of New Alternative Methods into regulated toxicology assays—Increasing predictivity of compound teratogenicity, endocrine disruption and general toxicity through the zebrafish model—」

Dr. Carles Cornet（ZeClinics）